

# 平成 18 年度運営報告

自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日

## 総 括

### 事業

#### I 地域の国際化の推進 5,480 千円

重点事業のひとつである「市町村国際交流協会の機能拡充事業」においては、通常の年 1 回のネットワーク会議のほかに、新規事業として事業担当者研修会を行い、担当職員のスキルアップのサポートを試みた。しかしながら、参加団体は、31 市町村国際交流協会のうち、ネットワーク会議においては 14 市町村、実務担当者研修会については、12 市町村とどちらも半数に満たず、組織基盤の脆弱さが浮き彫りとなり、さらなる組織の活性化及び連携強化の必要性が明らかになった。

「県民・NGO の活動推進事業」においては、県内 NGO への助成金として当初予算総額 150 万円を計上し活動推進を図ったものの、結果的には 4 事業交付総額約 87 万円と予算を下回り、しかも申請団体・事業が固定化しており、利用者にとってより魅力ある助成事業とするための見直しの必要性を再認識した。

「情報提供・調査研究の充実」においては、ニューズレター『ジャイロ』を表紙カラーにし体裁を整えるとともに、発送の外部委託を導入することで事務量軽減を図った。また、6 年ぶりに本協会ホームページをリニューアルし、情報の再編成を図ることでより当協会の理念や活動が理解しやすく、また情報が入手しやすいホームページとすることができた。

「協働事業実施の拡充事業」においては、地球市民フェスティバルを関係団体と実行委員会を構成して実施し、県内 NGO の活動紹介の場としてだけでなく、環境問題への意識啓発並びに外国出身県民同士及び地域住民との交流の場としても成果を上げることができた。また、福島県教育委員会等からなるネットワーク組織「福島県国際理解教育ネットワーク」が主催する 1 泊 2 日のふくしまグローバルセミナーにおいては、定員の 100 名を超える 124 名の参加者があり、また全体会の講師以外は県内講師が活躍し、これまで取り組んできた国際理解指導者研修会の成果の現れと認識できる。さらには、新規事業として福島相双地方振興局と連携して、「外国出身県民の力を地域活性化につなげるため」をテーマに、先進地視察や外国出身県民との懇談会等の実施を通じて、過疎中山間部における多文化共生の意識啓発に努めた。

#### II 多文化が共生する社会づくりの推進 7,608 千円

「日本語教室の活動推進事業」においては、日本語を学びたいという外国出身者の誰もがどこでもいつでも日本語が学べる環境づくりを目標に日本語教室未開設地域であ

る田村市や伊達市への働き掛けを行った。しかしながら市町村合併における混乱や細やかな連携不足により、日本語教室の新規開設に至らず、また2教室での休止がありフォーローアップの必要性を認識した。

一方、すでに活動している日本語ボランティアを対象にしたステップアップ研修会は、3地域で実施したが、その実施に当たってはその地域にあるいくつかの日本語教室と協働して企画運営することで、スキルアップだけでなく地域内のネットワーク構築の一助とすることができた。さらに、福島大学日本語教員養成コースとの連携を推進することで、平成19年度において、県北・中の日本語教室での教育実習生受け入れや当コースの社会人公開などが実現する足がかりを作ることができた。

「ふくしま多文化共生サポーターの活動推進」事業においては、サポーター登録者を対象に、特にニーズの多い中国語の通訳及び外国出身子どもの日本語支援をテーマにしたスキルアップ研修会を県内2会場で行い、資質向上を支援した。また外国出身の小学生へのサポート活動を中心にのべ12件のサポーターのコーディネートを行うとともに、年度途中には実態にあった制度の見直しを図りより使いやすい事業の提供に努めた。さらには、試験的に外国出身子どもの居場所づくりを目的とした「土曜広場」を年度後半から月2回実施し、ふくしま友好外交官が同じ中国出身の子どもたちの日本語や教科の補習の指導や話し相手として活躍した。

「多言語行政サービス提供事業」においては、新たにタガログ語、韓国語、ポルトガル語、の通訳員を週1回午後に配置し、多様な言語での対応に努めた結果、相談件数は、昨年度より141件増の700件となった。しかしながら中国語での相談が421件と圧倒的に多く、タガログ語は25件、韓国語は17件、ポルトガル語は6件に留まり、広報の拡充が課題として残された。また、サポーター養成講座を福島市や郡山市だけでなく、田村市や白河市でも実施したことで、新たな地域に在住する登録者を発掘することができ、今年度新規登録者は62名となり、昨年度の更新者と併せて104名(7ヶ国)の登録者を得ることができた。

「外国出身県民の社会参画の促進事業」においては、特枠高校等への巡回相談会を実施するとともに、県内大学在籍の私費留学生7名に奨学金を支給し、友好外交官として様々な機会に県民との交流に努めた。

「多文化共生教育の推進事業」では、多文化共生をテーマにしたプログラムを5つ準備し、要望に応じて県内各地の学校や公民館等に出向き、計28箇所931名に対してその啓蒙に努めた。

### Ⅲ 未来に持続可能な社会づくりの推進 769千円

「ESD普及事業」として、ESDに関する次年度会合開催に向けた情報収集やネットワークづくりを行う予定だったが、ESDに関する会議への出席1回のみにより、次年度への課題として残された。

「国際理解教育の推進事業」においては、JICA二本松と協働で各団体が主催する研修会に講師を派遣する出張型の指導者向け研修会を実施し、学校関係者をはじめとし

て計 8 回 283 名に対して、国際理解教育の視点や手法を紹介することができたばかりでなく、本協会の学校向け事業の広報にもつながった。また、教育現場との連携を深めるため本協会が取り組んでいる学校向け事業をパンフレットとしてまとめ、県教育委員会を通じて各学校に配布した。

「ニュージーランドとの交流事業」では、2 名のニュージーランド教員の 13 日間の交流事業の受け入れを行った。

## 運営

### I 財源

長引く厳しい経済状況の中、従来の賛助会費及び寄付金等から自己財源の増収は難しいことから、基本財産の運用として、国債と円建て外債の組み合わせによる運用を新規導入した。その結果、昨年度より 940 万円増の 1,734 万円の基本財産運用収入を得るという大きな成果を上げることができた。一方、賛助会費については、昨年度より 27 万円減の 155 万円、「うつくしま地球支援募金」は、昨年度より 78 万円減の 107 万円、負担金は、講座数の減の影響から昨年度より 11 万円減の 29 万円となった。

しかしながら結果的には、総収入に占める自己財源の割合は、昨年度の 23% から 37% へと飛躍的に増加した。

経費削減においては、様々な関係機関との連携による事業費削減を図った。また、コピーの自粛と印刷機の活用、宅配業者への切替えと電子媒体の活用などにより通信運搬費及び賃借料等の事務経費削減を図り、昨年度決算額より、通信運搬費においては 14% の減、賃借料（コピー代）については、5% の減を達成することができた。

### II 組織体制

6 年勤めたプロパー職員 1 名が退職したことにより、4 月より新たにプロパー 1 名を補充した。また公益法人の会計基準改正への対応として、10 月から会計経験の長い職員を嘱託員として新規採用した。

なお、引き続き JICA より 1 名の国際協力推進員が配置され、本協会との共催事業等を通じて JICA との連携を深めるとともに、県教育委員会からは現役小学校教諭を半年間の研修生として受け入れ、国際理解講座や地球市民フェスティバル、学校向けパンフレット作成等の事業を通じて、教育現場との連携を深めることができた。

## 事業実績（※は新規事業）

## 1 市町村国際交流協会の機能拡充事業（88 千円）【重点事業】

### (1) 市町村国際交流協会事業担当者研修会※

日 時：平成 18 年 12 月 1 日（金）10:00～16:00

会 場：(財) 福島県国際交流協会

講 師：小熊則子（会津若松市国際交流協会）

参加者：市町村国際交流協会事業担当者等 13 名

内 容：異文化コミュニケーションの疑似体験や事業分析のためのワークショップ、  
情報交換等

### (2) 市町村国際交流協会訪問

田村市、鏡石町、南相馬市、会津若松市及び白河市の市町村国際交流協会を訪問し、  
情報交換を行うとともに当協会事業への理解と協力を依頼した。

## 2 県民・NGOの活動推進事業（2,277 千円）

### (1) 日本語教室ネットワーク会議

日 時：平成 18 年 12 月 20 日（水）10:00～15:00

会 場：(財) 福島県国際交流協会

参加者：日本語教室 13 団体（20 名）

内 容：共通課題の解決に向けたワークショップ、本協会日本語教室支援事業への意  
見交換等

### (2) 市町村国際交流協会ネットワーク会議

日 時：平成 18 年 11 月 16 日（木）13:00～16:00

会 場：(財) 福島県国際交流協会

講 師：羽賀友信（長岡市国際交流センター センター長）

参加者：市町村国際交流協会代表者他 16 名

内 容：講話「新潟中越地震から学ぶ危機管理～市町村国際交流協会のあり方～」、  
多言語行政サービス事業説明等

### (3) ふくしま国際交流人材バンク事業

国際理解講座等における外国出身県民登録者を、公民館や学校等の国際理解講座の講  
師として紹介した。

○登録者数：64 名(昨年度比 102%)

○紹介件数：31 件(昨年度比 94%)

#### (4) うつくしま地球支援助成事業

下記の4事業について助成金を交付した。

	事業名	実施団体	交付額(円)
1	届けネパールに福島の善意	ネパール福島友好協会	30,000
2	国際理解元気ッズセミナー	財団法人 立教志塾	241,140
3	タイ国山岳地帯少数民族の子供が通う学校に対する通学寮建設・支援品送付事業	特定非営利法人 ザ・ピープル	300,000
4	保養里親運動第九回プログラム	NPO法人 かけ橋愛染乃会	300,000
総 額			871,140

#### (5) 海外移住者援護事業(県補助事業)

ブラジル県人会へ80万円、ペルー及びアルゼンチン県人会へ各20万円、パラグアイ県人会へ10万円の補助金を交付し、県人会活動を支援した。

### 3 情報提供・調査研究の充実(2,263千円)

#### (1) 国際交流情報紙『ジャイロ』の発行

- 仕様：8ページ 表紙カラー、中2色刷り 3,000部
- 発行回数：年4回
- 内容：人物紹介、NGOや市町村国際交流協会紹介、本協会の主催事業案内と報告など

#### (2) 英語版『国際交流情報 Gyro』

県内の外国出身者にとって役立つ一般生活情報等を、英語で本協会HP上に随時掲載した。

#### (3) ホームページ(日本語版)のリニューアル※

平成18年度を初年度とする第3期基本運営計画がスタートしたことに伴い、6年前に作成したホームページをリニューアルし、利用者にとってより本協会の事業が理解しやすく、活用しやすいように情報を再編集した。

#### (4) 広報パンフレットのリニューアル※

第3期基本運営計画に基づいた事業内容を掲載し、写真をふんだんに使うなどして誰にでも見やすく親しみやすい印象のあるパンフレットを作成した。

- 仕様：4ページ 全面カラー、10,000部

### **(5) メーリングリストの管理**

- メーリングリスト登録者数：291 件（昨年度比 103%）
- メーリングリスト利用件数：98 件（内、本協会発信件数 56 件）（78%）
- ホームページ（トップページ）アクセス件数：62,361 件（昨年度比 109%）

### **(6) NGOダイレクトリーの更新**

県内に活動の拠点のある 158 の民間国際交流団体の連絡先・設立趣旨・活動内容等を更新し、本協会ホームページ上で掲載することで団体間のネットワーク構築と県民に対して広く活動の紹介を行った。

## **4 協働事業実施の拡充事業（852 千円）**

---

### **(1) ふくしまグローバルセミナー2006**

主 催：福島県国際理解教育ネットワーク（構成団体：福島県、福島県教育委員会、ふくしま青年海外協力隊の会、JICA二本松、本協会）

日 時：平成 18 年 12 月 16 日（土）～17 日（日）

会 場：JICA二本松

講 師：上條直美（NPO法人開発教育協会）他 31 名

参加者：高校生 34 名、大学生 17 名、教員 20 名、一般 53 名 計 124 名（講師含む）

内 容：全体会『世界がもし 100 人の村だったら』と分科会（国際理解、異文化理解、国際協力などに関するワークショップや講話）

### **(2) ふくしま地球市民フェスティバル 2007**

主 催：ふくしま地球市民フェスティバル 2007 実行委員会（福島県、JICA二本松、国際交流・国際協力団体「ふくしま地球市民ネットワーク」、本協会）

日 時：平成 19 年 3 月 4 日（日）10:00～16:30

会 場：ビッグパレットふくしま

来場者：4,855 名（昨年度比 121%）

出展団体：40 団体（昨年度比 85%）

協賛団体：91 団体（昨年度比 99%）

内 容：NGO活動紹介、民族衣装ファッションショー、ごみ問題啓蒙パネル展示、生態系還元型食器活用レストランなど

### **(3) あぶくまロマンチック街道・多文化共生のまちづくりリーダー養成事業※**

主 催：福島県相双地方振興局、本協会

【スタディツアー IN 亘理】

日 時：平成 18 年 11 月 26 日（日）11:00～15:00

会 場：宮城県亘理町

参加者：川内村、南相馬市、相馬市などから外国出身者及びその関係者 44 名  
内 容：亙理町国際交流協会との懇談会、中国出身事業者会社訪問など

## Ⅱ 多文化が共生する社会づくりの推進 7,608 千円

### 1 日本語教室の活動推進事業（368 千円）【重点事業】

#### (1) 日本語ボランティアステップアップ講座

【南相馬市会場】(共催：南相馬市国際交流協会、外国人支援ボランティアグループふれんず)

日 時：平成 18 年 11 月 5 日（日）10:00～15:00

会 場：南相馬市原町区ひがし生涯学習センター

講 師：浅倉美波（ヒューマンアカデミー新宿校）

参加者：日本語ボランティア他 36 名

内 容：日本語の文字と文法の効果的な教え方

【福島市会場】(共催：福島市国際交流協会、蓬莱日本語教室、日本語教室ひなぎく、本宮町日本語教室)

日 時：平成 18 年 11 月 23 日（祝）13:00～16:30

会 場：福島市市民会館

講 師：荒川洋平（東京外国語大学）

参加者：日本語ボランティア他 54 名

内 容：マンツーマンでの効果的な教え方

【白河市会場】(共催：白河市国際交流協会、矢吹町教育委員会、国際交流の会・だるま、ラポール棚倉)

日 時：平成 18 年 12 月 10 日（日）13:00～16:30

会 場：白河地域職業訓練センター

講 師：鈴木英子（NPO法人国際都市仙台を支える市民の会）

参加者：日本語ボランティア他 25 名

内 容：学習者を飽きさせない楽しくて効果的な教え方

#### (2) 日本語教室実態調査

県内に活動の拠点のある 36 の非営利の日本語教室の連絡先・活動内容等を更新し、本協会ホームページ上で掲載することで団体間のネットワーク構築と日本語を学びたい・教えたいたい県民への情報提供に役立てた。

#### (3) 福島大学日本語教員養成コース一般公開に向けたアンケート実施※

福島大学日本語教員養成コースと協力して、県内日本語教室を対象に当該コースの一般公開のニーズ調査のためのアンケートを行った結果、平成 19 年度後期からの当該コ

一ス一般公開に向けた足がかりをつけることができた。

## 2 ふくしま多文化共生サポーターの活動推進事業（523 千円）【重点事業】

### (1) サポータースキルアップ研修会※

【郡山市会場】(共催：郡山市国際交流協会)

日 時：平成 18 年 12 月 2 日（土）10:00～16:00

会 場：郡山市労働福祉会館

講 師：西上紀江子（国際ボランティアセンター山形）、田所希衣子（外国人の子どもサポートの会）

参加者：ふくしま多文化共生サポーター登録者 30 名

内 容：「通訳の実践」と「外国出身子どもの日本語指導の実践」の各分科会

【福島市会場】(共催：福島市国際交流協会)

日 時：平成 18 年 12 月 9 日（土）10:00～16:00

会 場：福島テルサ

講 師：西上紀江子（国際ボランティアセンター山形）、田所希衣子（外国人の子どもサポートの会）

参加者：ふくしま多文化共生サポーター登録者 23 名

内 容：「通訳の実践」と「外国出身子どもの日本語指導の実践」の各分科会

### (2) サポーター登録者の更新

登録者数：104 名（内外国出身者 26 名(6 か国)）（昨年度比 221%）

登録分野（複数登録あり）

言語 居住地域	英語	中国語	韓国 朝鮮語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	ドイツ語、フランス語、ポーランド語、タイ語、ロシア語など	日本語
県北	11	12	3	1	2	1		9
県中	22	10	4	2			4	4
県南	5	3	1				2	5
会津	1						1	3
いわき	4	1		1			1	2

### (3) サポーター紹介コーディネート

下記のとおり、サポーター活動をコーディネートした。#は、本協会補助制度利用件数 12 件（昨年度比 109%）

人数 20 名（昨年度比 143%）

No	期間(時間)	場所	内容	依頼者	サポーター数
1	平成 18 年 4 月 25 日～6 月 30 日 (14 時間)	福島市立第一中学校	中国(朝鮮族)出身生徒 1 名への日本語指導と教	福島市国際交流協会(福島市教育委員会経由)	1

			科通訳		
2	平成 18 年 6 月 8 日～7 月 13 日 (35 時間)	福島市立信陵中学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	福島市国際交流協会(福島市教育委員会経由)	1
3	平成 18 年 6 月 5 日～6 月 26 日 (14 時間)	福島市立蓬萊小学校	中国(朝鮮族)出身出身児童 1 名への日本語指導と教科通訳	福島市国際交流協会(福島市教育委員会経由)	1
# 4	平成 18 年 4 月 12 日～7 月 18 日 (52 時間)	田村市立広瀬小学校	中国(朝鮮族)出身児童 1 名への日本語指導と教科通訳	田村市教育委員会	1
5	平成 18 年 5 月 29 日～11 月 24 日 (62 時間)	大玉村立大玉中学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	大玉村教育委員会	1
6	平成 18 年 9 月 7 日～11 月 30 日 (49 時間)	福島市立三河台小学校	中国(朝鮮族)出身生徒 1 名への日本語指導	福島市国際交流協会(福島市教育委員会経由)	1
# 7	平成 18 年 9 月 8 日～10 月 27 日 (36 時間)	須賀川市立大東小学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	須賀川市教育委員会	1
8	平成 18 年 10 月 6 日		中国出身母親への子ども預かりサービス補償保険制度の翻訳	福島県老人クラブ連合会	1
# 9	平成 18 年 10 月 17 日～12 月 19 日 (36 時間)	二本松市立東和中学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	二本松市教育委員会	1
10	平成 18 年 11 月 日～ (継続中)	本宮市立白沢中学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	本宮市教育委員会	1
# 11	平成 19 年 1 月～ (継続中)	天栄村中学校	中国出身生徒 1 名への日本語指導	天栄村教育委員会	1
12	平成 19 年 1 月 16 日	福島市音楽堂	音楽教育プログラムにおける英語通訳	福島市振興公社	9

#### (4) 土曜広場※

本協会国際交流サロンにおいて、ふくしま友好外交官がサポーターとして、中国出身の子どもたちの日本語学習や教科学習の支援、また遊び相手及び話し相手として活躍した。

回	日時	外国出身子ども数	ふくしま友好外交官数
1	平成 18 年 10 月 7 日 (土) 14:00～16:00	3	2

2	平成18年10月21日(土) 14:00~16:00	3	3
3	平成18年11月11日(土) 14:00~16:00	5	2
4	平成18年11月25日(土) 14:00~16:00	3	2
5	平成18年12月2日(土) 14:00~16:00	5	2
6	平成19年1月13日(土) 14:00~16:00	4	3

### 3 多言語行政サービス提供事業(県受託事業) (4,980千円)

#### (1) 多言語行政サービスネットワーク会議

日 時：平成18年7月11日(火) 14:00~16:00

会 場：(財)福島県国際交流協会

参加者：外国出身者からの相談に関わる行政関係者 16名

内 容：県内の外国人登録者の現状、多言語行政サービス事業説明、意見交換など

#### (2) 多言語による被害状況速報の提供

福島県災害対策グループより発信される県内における被害状況速報を、随時英語と中国語に翻訳し、その内容を当協会ホームページ上で提供した。(23回更新)

#### (3) 相談業務

○相談件数

700件(昨年度比125%)

内トリオフォン利用件数 61件(昨年度比117%)

○主な相談内容

医療(154)、生活全般(123)、在留資格(76)、家族(85)、労働(59)、通訳翻訳(47)など

○主な相談者出身国

中国(421)、日本(113)、フィリピン(25)、アメリカ(53)、韓国(17)など

#### (4) ふくしま多文化共生サポーター養成講座

【白河市会場】(共催：白河市国際交流協会)

日 時：平成18年10月28日(土) 10:00~16:00

会 場：白河地域職業訓練センター

参加者：17名

講師及び内容(以下全会場同様)：

バーンガで異文化体験(布田節子 ふくしま青年海外協力隊の会)、サポーター体験談(飛田立史他)、通訳の基本的な心構え(菅野エリ V.V スペイン語講師)

【福島市会場】(共催：福島市国際交流協会)

日 時：平成18年10月29日(日) 10:00~16:00

会 場：(財)福島県国際交流協会

参加者：30名

【郡山市会場】(共催：郡山市国際交流協会)

日 時：平成18年11月18日(土) 10:00～16:00

会 場：郡山市労働福祉会館

参加者：24名

【田村市会場】(共催：田村市国際交流協会)

日 時：平成18年11月19日(日) 10:00～16:00

会 場：船引町公民館

参加者：12名

## **(5) 行政機関の多言語行政サービスに関わる講座(出張型)**

【女性のための相談支援センター】

月 日：平成19年2月7日

会 場：福島県国際交流協会

参加者：当該センター女性相談員 6名

【福島県相双地方振興局】

月 日：平成19年2月28日

会 場：福島県相双地方振興局

参加者：出先機関職員 約50名

## **4 外国出身県民の社会参画の促進事業 (1,550千円)**

---

### **(1) 巡回相談会**

【特別枠受け入れ県立高等学校会場】

日 時：平成18年6月2日(木)、6日(火)、9日(金)、13日(火)、27日(火)

会 場：福島南高校、あさか開成高校、光南高校、会津学鳳高校

相談者：18名

内 容：進路、在留資格他

【会津若松市会場】

日 時：平成18年10月14日(土) 13:00～16:00

会 場：会津若松市中央公民館

相談者：5名

内 容：在留資格、財産分与他

【川内村会場】

日 時：平成19年1月21日(日) 14:30～15:00

会 場：川内村いわなの郷交流体験館

相談者：1名

内 容：永住権及びパスポート

## (2) 外国出身県民との懇談会※

日 時：平成 19 年 1 月 21（日）10:00～14:30

会 場：川内村いわなの郷交流体験館

講 師：柴田義助（新庄コンピューター専門学校）

参加者：川内村、南相馬市などから外国出身者及びその関係者 52 名

内 容：講話「外国出身者の力を地域活性化につなげるために」、懇談会

## (3) ふくしま友好外交官事業

### 【任命事業】

福島県内の大学に在籍中の外国人私費留学生 7 名（応募者 17 名）を「ふくしま友好外交官」に任命し、月 2 万円の奨学金を 9 ヶ月間交付した。

李鵬運（中国・山東省 福島大学経済学部 3 年）

薛 鵬（中国・遼寧省 福島大学経済学部 3 年）

謝振琪（中国・広西省 福島大学経済学部 3 年）

劉建勇（中国・河北省 福島大学経済学部 3 年）

潘 峰（中国・遼寧省 福島大学経済経済学類 2 年）

玄 姫（中国・吉林省 福島大学行政政策学類 2 年）

楊巧会（中国・遼寧省 福島県立医科大学大学院 2 年）

### 【中国ふれあい講座&中国料理交流会】

日 時：平成 19 年 1 月 6 日（土）10:00～14:00

会 場：福島市市民会館

講 師：ふくしま友好外交官 7 名

参加者：29 名

内 容：講話「中国食事情」、餃子づくり、懇談会

## 5 多文化共生教育の推進事業（187 千円）

### (1) 多文化共生出張講座

下記のとおり多文化共生をテーマにした出張講座を実施した。

実施回数 28 回（昨年度比 133%）

参加者数 931 名（昨年度比 101%）

#### ○プログラムと講師

	プログラム名	講師
A	世界の遊び教室	サンディ・シェ(福島県国際交流協会)他
B	トランプゲーム「バーンガ」	布田節子(ふくしま青年海外協力隊の会)
C	人の往来～ブラジル移民の歴史から～	石田セシリア

D	異文化コミュニケーション～カナダの歴史から～	サンディ・シェ(福島県国際交流協会)
E	外国出身住民とともに生きる社会	幕田順子(福島県国際交流協会)

回	日時	会場	団体	プログラム名	参加者数
1	平成 18 年 5 月 29 日	県立安達東高校	県立安達東高校	D	23
2	平成 18 年 6 月 2 日	本宮町中央公民館	国際ロータリークラブ 2530 地区	B	72
3	平成 18 年 6 月 2 日	本宮町中央公民館	国際ロータリークラブ 2530 地区	C	
4	平成 18 年 6 月 2 日	本宮町中央公民館	国際ロータリークラブ 2530 地区	D	
5	平成 18 年 7 月 12 日	県立福島中央高校	県立福島中央高校	D	32
6	平成 18 年 7 月 29 日	ワークランド みみずく	ワークランドみみずく	A	14
7	平成 18 年 8 月 3 日	福島県青少年 会館	県北地区高等学校青少年 赤十字指導者協議会	E	17
8	平成 18 年 8 月 9 日	J I C A 二本 松	福島県高等学校国際教育 研究協議会	E	15
9	平成 18 年 9 月 2 日	須賀川市中央 公民館	須賀川市中央公民館	A	27
10	平成 18 年 9 月 5 日	郡山市立日和 田中学校	郡山市立日和田中学校	B	44
11	平成 18 年 10 月 5 日	県立二本松工 業高校	県立二本松工業高校	B	40
12	平成 18 年 11 月 15 日	県立本宮高校	県立本宮高校	D	48
13	平成 18 年 12 月 6 日	福島第二小学 校	福島市立福島第二小学 校	E	67
14	平成 18 年 12 月 14 日	福島県庁東分 庁舎体育館	川俣町立川俣南小学校	A	31
15	平成 18 年 12 月 15 日	飯野町立大久 保小学校	飯野町立大久保小学校	A	22
16	平成 18 年 12 月 19 日	福島市立立子 山小学校	福島市立立子山小学校	A	24
17	平成 19 年 1 月 10 日	渡利学習セン ター	渡利学習センター	D	30
18	平成 19 年 1 月 18 日	福島市立月輪 小学校	福島市立月輪小学校	A	25
19	平成 19 年 1 月 30 日	本宮市立本宮 小学校	本宮市立本宮小学校	B	80

20	平成 19 年 2 月 7 日	伊達市立掛田小学校	伊達市立掛田小学校	C	39
21	平成 19 年 2 月 8 日	福島市立庭坂小学校	福島市立庭坂小学校	A	55
22	平成 19 年 2 月 15 日	伊達市立庭坂小学校	伊達市立庭坂小学校	A	47
23	平成 19 年 2 月 16 日	伊達市立富成小学校	伊達市立富成小学校	B	28
24	平成 19 年 2 月 21 日	川俣市立富田小学校	川俣市立富田小学校	C	22
25	平成 19 年 2 月 22 日	福島市立松川小学校	福島市立松川小学校	A	50
26	平成 19 年 2 月 22 日	福島市立松川小学校	福島市立松川小学校	A	50
27	平成 19 年 3 月 20 日	柳津町公民館	柳津町公民館	D	13
28	平成 19 年 3 月 24 日	福島県男女共生センター	福島県男女共生センター	A	16

## (2) その他の国際理解講座

### 【料理で異文化理解交流教室～美味に国境なし】

日 時：平成 18 年 5 月 20 (土) 10:30～14:00

会 場：福島市三河台学習センター

講 師：ディラン・シード (福島県国際交流員)

参加者：19 名

内 容：ニュージーランドの家庭料理の調理と試食、講話「ニュージーランドの文化」

### 【親子で世界の遊び教室】

日 時：平成 18 年 5 月 27 (土) 14:00～15:30

会 場：(財)福島県国際交流協会

講 師：石田セシリア他

参加者：15 名

内 容：ブラジル、台湾などの遊びの体験

## Ⅲ 未来に持続可能な社会づくりの推進 769 千円

### 1 ESD 普及事業 (44 千円) 【重点事業】

ESD 全国会議に出席し人的ネットワーク作りを図るとともに情報を収集した。

### 2 国際理解教育の推進事業 (368 千円)

## (1) 国際理解指導者研修会(出張型)(共同主催:JICA 二本松)

下記のとおり出張講座を実施した。

実施回数 8回(昨年度比133%)

参加者数 283名(昨年度比250%)

回	日時	会場	団体	参加者数	講師
1	平成18年7月21日(金) 14時35分～16時15分	福島市信稜学習センター	小学校教育研究会福島地区	83	幕田順子(福島県国際交流協会)
2	平成18年7月24日(月) 10時15分～11時50分	石川町立石川小学校	石川地区小学校教育研究会(生活科・総合研究部)	23	小熊則子(会津若松市国際交流協会)
3	平成18年7月25日(火) 9時30分～11時30分	郡山市さんかくプラザ	郡山市小学校教育研究会(国際理解)	90	幕田順子(福島県国際交流協会)
4	平成18年7月25日(水) 9時30分～12時30分	梁川農村環境改善センター	伊達地区小学校教育研究会(国際理解)	26	布田節子(ふくしま青年海外協力隊の会)
5	平成18年8月18日(金) 9時30分～11時30分	県立富岡高校	県立富岡高校	12	布田節子(ふくしま青年海外協力隊の会)
6	平成18年8月18日(金) 13時30分～15時30分	浪江町立浪江小学校	浪江町教育委員会国際理解部	12	布田節子(ふくしま青年海外協力隊の会)
7	平成18年10月1日(日) 8時30分～12時30分	郡山磐梯熱海清凌山倶楽部	グローバル教育研究会ふくしま	24	吉田新一郎(ラーンズケイブ)
8	平成18年12月11日(月) 13時00分～16時00分	ビッグパレットふくしま	福島県社会福祉協議会	13	小熊則子(会津若松市国際交流協会)

## (2) 福島大学との連携による国際理解教育指導者研修会

福島大学の社会科教職単位履修者を対象に、国際理解教育指導者研修会を実施し、指導者の裾野拡大を図った。

日時:平成18年6月7日(木)、14日(木)計2回

会 場：福島大学

講 師：幕田順子（福島県国際交流協会）

参加者：福島大学教育学部社会科学系教育コースで学ぶ学生 25 名程度

### (3) 福島県国際理解教育ネットワーク

福島県国際交流グループ、福島県教育委員会、JICA二本松、ふくしま青年海外協力隊の会及び本協会で構成されるネットワーク組織の事務局として、共同主催事業開催に関する会議の調整を行うとともに、各団体の主催事業紹介のための共同パンフレットを作成し、HP上に掲載するとともに関係者に配布した。その結果、年間を通じて、国際理解教育関係の問い合わせに応じるなどして、コーディネートの役割を果たした。

### (4) 学校向けパンフレット「国際理解教育こんなときどうする」発行※

○仕 様：8 ページ 表紙カラー、中 2 色刷り 3,000 部

○内 容：国際理解出張講座、ふくしま多文化共生サポーターなど学校向けに実施している事業紹介他

○配 布 先：福島県教育委員会、各福島県教育事務所、各市町村教育委員会、各高校、県北の各小中学校他

## 3 ニュージーランドとの交流事業(県受託事業) (357 千円)

ニュージーランド教員 2 名を 13 日間本県へ招聘し、県北・相双の 4 つの中・高校の訪問やホームステイ、日本伝統文化体験等を通じて、福島県民との交流と相互理解を図った。

## E その他

### 1. 「地域に学ぶ中学生体験活動事業」の受け入れ事業

福島市教育委員会主催の「平成 18 年度地域に学ぶ中学生体験活動事業」として、市内中学生を受け入れ、当協会業務の補助や市内の NGO 訪問などを行うことで、参加生徒の国際理解・協力への理解の一助とした。

期間	受入中学校	人数
平成 18 年 7 月 11 日～14 日	福島市立西根中学校	3 名

## 2. インターネット配信講座「e - 夢・まなびと」

福島県教育委員会主催のインターネット配信講座「e - 夢・まなびと」の「“うつくしま多文化” 身近な国際交流」において、4 講座をコーディネートするとともに下記の1 講座を担当した。

- テーマ：福島県の多文化の現状と当協会の取り組みについて
- 時 間：約20分
- 出演者：五十嵐直樹

## 3. 関係機関への講師派遣

関係機関団体の各種事業に当協会職員を講師として派遣協力した。

月 日	主催者	事業名	職員名
平成 18 年 6 月 9 日	福島市立信夫中学校	職業人の講話	幕田順子
平成 18 年 8 月 22 日	福島県立あさか開成高校	校内研修	何 敏
平成 18 年 11 月 25 日	日本語学習ネットワーク 会議 06in SENDAI 実行委員 会	日本語学習ネットワーク 会議 06 in SENDAI	幕田順子
平成 19 年 1 月 23 日	福島県立光南高校	国際教養系教員研修会	幕田順子
平成 18 年 11 月 28 日	福島大学	福島の観光を考える座談 会	何 敏
平成 19 年 1 月 11 日	ビルメンテナンス協会	新春の集い	何 敏
平成 19 年 2 月 28 日	福島県相双地方振興局	出先機関連絡会議	何 敏
平成 19 年 3 月 6 日	福島市	観光施設UDチェック	何 敏
平成 18 年 7 月 7 日～ 平成 19 年 3 月 31 日	福島県教育委員会	第 20 回全国生涯学習フ ェスティバル企画準備委 員会	渡部洋子
平成 18 年 7 月 21 日～ 平成 19 年 3 月 31 日	福島県	ユニバーサルデザイン推 進会議	何 敏

## 目標指数

### 1. 事業の目標指数

第3期基本運営計画における重点事業の数値目標の達成状況は下記のとおり。

項目	平成17年度 (実数)	平成18年度 (実数)	平成22年度
市町村国際交流協会の設立率 (設立数/市町村数)	49%※1 (30 協会)	52%※2 (31 協会)	70%
日本語教室の市町村開設率(設 立市町村数/外国人登録のある 市町村数)	36% (22 市町村)	39%※3 (23 市町村)	70%
多文化共生センター登録数率(登 録者数/外国人登録者数)	0.36% (46 人)	0.83%※4 (104 人)	1.5%
多文化共生センター活動率(活動 延べ人数/登録者数)	27% (13 人)	19%※5 (20 人)	50%
ESD 普及事業参加者数(累計)	—	0 人	250 人

※1 30 市町村国際交流協会 / 61 市町村

(平成17年度の時点で非公開が4市町村国際交流協会あったが、今年度は公開となっている。)

※2 31 市町村国際交流協会 / 60 市町村

※3 23 市町村 / 59 市町村

(平成17年度の時点で非公開が1教室あったが、今年度は公開となっている。)

※4 104 名 / 12,530 名

※5 20 名 / 104 名

### 2. 経営の目標指数

項目	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 22 年度
賛助会費収入	183 万円	155 万円	260 万円
総収入における自己財源率(県 補助金・委託料以外の収入/総 収入)	23%	37%※1	40%
常勤担当職員数	6 名	7 名	7 名

※1 総収入＝当期収入合計額(79,262,572円)－特定預金取崩収入(4,460,000円)－繰入金収入(19,217,022円)  
＝55,585,550円

県からの補助金・委託料以外の収入＝総収入(55,585,550円)－補助金等収入(34,900,433円)＝20,685,117円